

# ふれあい



神崎町社協イメージキャラクター：ふくちゃん



●米沢小学校



●香取特別支援学校

## 地域の福祉

## みんなで参加



●神崎中学校



●神崎小学校

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動に、神崎町内の小・中学校の生徒さんたちのご協力により、たくさんの寄附金が寄せられました。皆さまの温かいご寄付に心からお礼を申し上げますと共に、今後とも赤い羽根共同募金運動に変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 新年のご挨拶

# 「みんなの社協で あるために」



神崎町社会福祉協議会

会長 平井 凡夫

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに、希望の新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

平素より、福祉向上のための社会福祉協議会の各種福祉事業が、皆さまのご理解とご協力により実施できますこと、心から感謝と御礼を申し上げます。

今日、急速な少子高齢化・家族形態の変化・そして長引く景気の低迷等を背景に、生活課題・福祉課題もさまざまに多様化してきております。

このような社会情勢の中、私達社協は、「住み慣れた地域で家族や友人とともに健やかに暮らしたい」という願いを叶えるため、「地域に住む私達が共に支え合い、助け合う共助社会の実現」を基本理念に、町民の皆さまの繋がりと絆を大切にして福祉活動・事業につとめております。

地域福祉実現に向かって、「みんなの社協」であるために町行政の支援と連携のもと町民の皆さま方と、そして民生委員・児童委員・神崎米澤両地区社協・ボランティアグループと関連福祉諸団体の皆さまと手を携えて、社協役職員が全力で取り組んでまいります。

本年も皆さまの一層のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

年頭にあたり皆さま方、益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦



## 若洲海浜公園

## ウォーキング

### ウォーキング教室

11月19日(月)、毎年計画されているウォーキング教室の町外ウォーキングが今年も開催され、若洲海浜公園からゲートブリッジを目指し、見事全員で完歩しました。

広大な荒川河口に沿って東京湾までウォーキング、雄大なゲートブリッジをバックにしての記念撮影。波立つ荒川が歩みを進める度に大きくなって海原へと変わっていく様は、まさに圧巻の一言でした。当日はあいにくの曇り空で、それがとても残念でしたが、普段の室内トレーニングを離れて開放感あふれる海までの遊歩道を満喫しました。



# 神崎町ボランティア連絡協議会研修旅行

神崎町ボランティア連絡協議会 会長 高柳力三

去る12月12日(水)に今話題の東京臨海広域防災施設『そなエリア』に行きまして。入口でDSのゲーム機を渡され、ガイダンスに従いながら、地震の起こった直後を体験し、自分の判断次第で72時間『生死』を分けるというゲームでした。

『72時間』というのは行政が入れない(行政が地震対策本部を立ち上げる時間)＝自力で生きていく時間の事です。

『自分が生き残らなければ人を助けられない』という言葉が未だに心に残っております。私達ボランティアが近隣の皆様とどう助け合い、共存していくかを考えさせられました。

現在、千葉は4つの地震帯を抱えていると言われております。

今が大丈夫だから…私は大丈夫…という安全神話は3.11以来崩れました。

『72時間生き残る』ためにも今回の研修会はとても参考になりました。

又、各方面でご尽力いただいているボランティアの皆様との繋がりも更に深まり災害に強い町『神崎』になるだろうと再認識致しました。



## 神崎町老人クラブ連合会秋季親睦旅行

# 信州の旅・黒部ダム

老人クラブ毎年恒例となりました秋季親睦旅行、今年は10月25日から一泊二日にて、信州・黒部ダムに行きまいりました。

総勢36名の参加者は道中も和気あいあいとした雰囲気、例年より長めの行程もあったという間の楽しい旅行でした。

北アルプスの湧き水と呼び声が高い安曇野の大王わさび農場では、澄んだ水の美しさと、その水で育ったわさびの瑞々しさを味わいました。

黒部ビューホテルでは、美味しい夕食を楽しみながらの宴会。今年も軽快な司会進行で大いに盛り上がりました。



平成24年度 神崎町老人クラブ連合会懇親旅行

2日目の行程は時間をたっぷりかけての黒部ダム見学。10月下旬としては極めて稀な観光放水を行っており、おかげで紅葉と荘厳なダム、そして水煙を立てての豪快な放水と、舞い散る水霧に掛かる虹を同時に記憶に刻むことができ、とても運が良かったと皆で喜びを分かち合いました。

来年もまた旅行に参加しましょうと、虹を見下ろしながら一同固く約束を交わし親睦を深めた今回の旅行となりました。

## 平成24年度 日赤社資募集運動終了報告

8月に行なわれた日本赤十字社社資募集運動では、各地区の区長さんをはじめ多くの皆さまのご協力により、多大なるご支援をいただくことができました。

集められた社資は、地震・水害などの大災害が発生した際の医療救護活動や献血・医療事業、青少年の健全育成、救急法等講習普及事業などに使われています。

一般社資	865,500円
法人社資	73,000円
寄付金	20円
合計	938,520円



—赤十字救急法フェスタ  
2012出場—

ご協力ありがとうございました。

## 平成24年度 成年後見制度研修会

県民や福祉関係者を対象に、落語などでおもしろおかしく成年後見制度の概要や職務を学び、制度の利用促進を図ります。

- ◆日時 平成25年2月24日(日)  
13時20分～16時30分
- ◆会場 千葉市生涯学習センター  
(JR千葉駅東口か北口から徒歩8分)
- ◆定員 300名(申込先着順)
- ◆申込 申込書をFAXかE-mailで送信  
(定員を超えた場合のみ連絡します)
- ◆締め切り 平成25年2月14日(木) 必着
- ◆資料代 500円
- ◆申込書配布場所  
各社会福祉協議会、各市町村行政等。  
千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会、  
千葉司法書士会のHPからもダウンロードできます。
- ◆申込・問い合わせ先  
〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3  
千葉県社会福祉協議会千葉県後見人センター  
TEL 043(204)6012 FAX 043(204)6013  
E-mail smile@chibakenshakyo.com

## 交通遺児援護基金

千葉県社会福祉協議会では、陸上交通事故などでお父さんお母さんを失った18歳未満の遺児及び18歳未満の遺児のいる世帯に、激励のための見舞金などを支給しています。

### 【支給金の種類】

- ◆見舞金  
1世帯 100,000円  
(遺児となった日から1年以内)  
但し、遺児が2名以上いる世帯については、2人目から各々に50,000円を加算します。
- ◆勉学奨励金  
・小学校に入学する遺児 20,000円  
・中学校に入学する遺児 20,000円
- ◆激励金  
中学校を卒業する遺児 50,000円
- ◆図書カード  
小学校又は中学校に入学する遺児及び中学校を卒業する遺児10,000円の図書カード

※問合せ・申し込みは  
神崎町社会福祉協議会まで(TEL72-4031)

## ご寄付ありがとうございました

(H24.10.16～H24.12.15) 敬称略

- 神崎ライオンズクラブ 115,000円
- 「空の日」・「空の旬間」記念事業  
成田地区実行委員会 85,000円
- 神崎町体育協会ゴルフ部 22,000円
- 萱田 淳子 20,000円
- 匿名 3,070円
- 神崎町ボランティア連絡協議会  
40,110円
- そばの会神崎 20,000円
- 神崎町商工会工業部会  
神崎町建設業協会 7,801円



神崎体育協会ゴルフ部



神崎ライオンズクラブ